

## 論文審査の結果の要旨

氏名：長谷川 真 紀

専攻分野の名称：博士（医学）

論文題名：Influenza（H1N1）2009 感染による小児入院肺炎例の解析  
－呼吸器合併症の有無による臨床的特徴－

審査委員：（主査） 教授 亀 井 聡  
                  （副査） 教授 池 田 稔                   教授 高 橋 昌 里  
                                  教授 落 合 豊 子

Influenza（H1N1）2009 感染症による小児入院肺炎例について、重篤な呼吸器合併例の有無により 2 群に分類しその臨床像を報告した（長谷川真紀. Influenza（H1N1）2009 感染による小児入院肺炎例の解析-呼吸器合併症の有無による臨床的特徴-. 感染症学雑誌 86（1）：13-21, 2012）。

Influenza（H1N1）2009 感染で入院を要した 121 例中肺炎例 56 例について、縦隔気腫や広範囲の無気肺等の重篤な呼吸器合併群と非合併症例とを比較も含め臨床像を検討した。合併例では入院時の酸素飽和度が有意に低く、非特異的 IgE 値が有意に高値であることを明らかにした。また、合併例では有意にイソプロテレノールが使用され、かつ入院期間が長いことも併せ明らかにした。

以上より、非特異的 IgE 値が高値を示す児は、した下気道や肺胞における IgE を介した好酸性の過剰反応により、低酸素血症を伴う呼吸器合併症をきたしやすいと結論した。

よって本論文は、医学（博士）の学位を授与されるに値するものと認められる。

以 上

平成 25 年 3 月 27 日